

高等学校 令和4年度（2学年用） 教科 家庭 科目 食文化

教科： 家庭 科目： 食文化 単位数： 2 単位

対象学年組： 第2学年 1組～ 2組

使用教科書：（食文化概論）

教科 家庭 の目標： 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- 【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、加速・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】家庭的・社会的な生活の中の問題を見出し課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学的根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 食文化 の目標： 家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食文化の伝承と創造を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食文化の成り立ちや日本と世界の食文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	食生活の現状から食文化に関する課題を発見し、食文化の伝承と創造を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食文化の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第2章 日本の食文化 第3節 行事食と郷土料理 【知識及び技能】 日常食、行事食、郷土料理の文化的、歴史的な側面や発展について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・日本の食文化（日常食、行事食、郷土料理等）について理解し、これらの深い学びに関心をもつことができるようにすること 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	12
	第1章 食と文化 第1節 食文化の成り立ち 第2節 多様な食文化 【知識及び技能】 気候や風土などの自然環境や宗教、風俗・習慣などとの関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・食文化の成り立ちや多様な食文化とその背景について理解するとともに、その技術も身に付けることができるようにすること 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第1章 食と文化 第3節 食文化の共通化と国際化 【知識及び技能】 気候や風土などの自然環境や宗教、風俗・習慣などとの関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・食文化の共通化や国際化、世界の主な食文化圏について、主食、調理方法、宗教と食物禁忌などの視点を理解するとともに、その技術も身に付けることができるようにすること 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	10
	第2章 日本の食文化 第1節 日本の食文化史 第2節 日本料理と食文化 【知識及び技能】 日常食、行事食、郷土料理の文化的、歴史的な側面や発展について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・日本の食文化の変遷や料理様式などを理解し、関連する技術を身に付ける。課題を発見し、その解決に向けて考察し、表現する。伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組むこと 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	12
	第3章 世界の料理と食文化 第1節 西洋料理の食文化 第2節 中国料理と食文化 【知識及び技能】 主な食文化圏とその料理の特徴や食のグローバル化による食生活の変容について理解し関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・世界の食文化圏や料理様式については、歴史と関わって変化していることを理解し、西洋料理、中国料理それぞれの食材料理・料理様式、食事作法等の特徴などを理解すること	【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>第3章 世界の料理と食文化 第3節 その他の国の料理と食文化</p> <p>【知識及び技能】 歴史と食文化圏の関わりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。</p>	<p>・世界の食文化圏や料理様式については、歴史と関わって変化していること理解し、様々な国々の料理の、食材料、料理・料理様式、食事作法等の特徴などを理解すること</p>	<p>【知識・技能】 ワークシート・実習 【思考・判断・表現】 発問、発表・実習 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計